

住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち

湯梨浜町人権教育推進協議会

人推協だより

令和6年2月1日発行

～広げよう 優しい心と 明るい笑顔～



湯梨浜町人権教育推進協議会は、地域、事業所、学校、こども園、保育園、行政、社会教育関係団体などで組織され、湯梨浜町が、お互いの人権が尊重される町になるよう活動しています。

主な活動内容は、下記のとおりです。

- (1) 町民の皆さんに部落差別をはじめとするさまざまな人権問題について正しい理解を深めたり、その解決に向けて学習したりしていただく機会として、計画的にゆりはま人権セミナーや講演会等を開催します。
- (2) 地域部会を中心として、より一層の学習内容の充実を図りつつ、人権教育座談会に取り組みます。
- (3) あらゆる差別のない住みよいまちづくりに向け、町民の皆さん一人一人が人権尊重のまちづくりの担い手であることを自覚していただけるように啓発活動を行います。

能登半島地震の発生を受けて

2024(令和6)年1月1日、最大震度7を観測した能登半島地震が発生しました。1月17日時点の死者数は、222名(地震関連死14名)と報道されています。また、がけ崩れなどにより交通網が寸断された孤立集落、電気や水道などのライフラインが復旧していない地域も多くあり、地震による被害の全容は未だ明らかになっていません。

過去の地震を振り返りますと、1995(平成7)年1月17日に最大震度7を観測した阪神淡路大震災、2011(平成23)年3月11日に最大震度7を観測した東日本大震災、また、鳥取県では、2000(平成12)年10月6日に最大震度6強を観測した鳥取県西部地震、2016(平成28)年10月21日に最大震度6弱を観測した鳥取県中部地震が思い起こされます。

今回の能登半島地震発生を受けて、コロナ渦により、薄くなったといわれる地域の人と人とのつながり(絆)を再び強くし、共に助け合う関係を再構築するための行動が、私たち一人一人に求められているのだと、多くの方が感じられたことと思います。その際に、社会的弱者といわれる障がいのある人、高齢の人、子どもたち、日本語が理解しにくい外国籍の人などに対する配慮が特に必要だと感じます。

併せて、残念なことに、インターネット上では、能登半島地震についての虚偽情報の拡散や支援金詐欺サイトを立ち上げたりする行為が行われており、注意を呼び掛ける報道がされています。私たち一人一人が、嘘に惑わされない力や情報の正しさを見極める力を培っていくことも必要です。

湯梨浜町人権教育推進協議会は、町民の皆さんと共に人権尊重の町づくりに向けて、今後も人権教育・啓発に取り組んでまいります。ご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

◆◆◆令和5年度 湯梨浜町人権教育推進協議会 人権教育・啓発事業について◆◆◆

町民のつどい(6月25日)、第1回ゆりはま人権セミナー(7月12日)、第2回ゆりはま人権セミナー(9月13日)、人権教育推進大会(10月29日)、第3回ゆりはま人権セミナー(11月22日)、人権教育地区座談会(10月～12月)、ユニバーサルスポーツ モルック体験(12月9日)を実施しました。

多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました！

※ かわいい活動報告は、次ページから紹介いたします。



町民のつどい

映画「ケアニン～ここに咲く花～」を上映しました。「ケアニン」とは、介護、看護、医療、リハビリなど人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いているすべての人のことです。

昨年度、上映した「ケアニン～あなたでよかった～」の続編で、ケアニンの仕事を追及するため、小規模施設から大型の特別養護老人ホームに転職した主人公が、効率化やリスク管理を優先する現場に戸惑いながら、入所者に真心で接しようと奮闘する姿を描いた作品です。

映画の中で「徘徊はスタッフが一緒だと散歩です」「認知症になっても終わりではない」という言葉が印象に残った」と参加者から感想がありました。

□ 参加者数 132人 アンケート満足度 95.7%



人権教育推進大会

人権標語の表彰、中学生の意見発表、人権劇の公演を行いました。

(1) 人権標語の表彰

人権標語では、町内小・中学校等を通じて募集したところ、588点のご応募をいただきました。その中で、最優秀賞・優秀賞を受賞された方々の作品をご紹介します。

人権標語

最優秀賞

広げよう 優しい心と 明るい笑顔 湯梨浜中学校 2年 前田 結月さん

優秀賞

あいさつで 相手の心に 愛とものる

湯梨浜中学校 1年 杉本 海志さん

他人事 見過ごせば次は 自分事

湯梨浜中学校 2年 中原 惇人さん

守ろうよ みんなの人権 みんなの笑顔

湯梨浜中学校 2年 中村陽菜子さん

みんなある 違いも全て 君の良さ

湯梨浜中学校 3年 坂根 杏さん

一人じゃない 小さな勇気 大きな助け

湯梨浜中学校 3年 杉山 白桜さん



最優秀賞作品は、湯梨浜町の様々な人権啓発活動において、活用させていただきます。

(2) 中学生の意見発表

中学生の意見発表では、湯梨浜中学校3年 井口 旦都さんが「自分と違う人」と題して、ご自身の体験から多様な人達が安心して暮らせる社会について考えたことを発表してくださいました。

参加者からは、「中学生による意見発表がとても良く、刺激を受けました」と感想をいただきました。



(3) 人権劇

演題：「あらしのよるに」 劇団星のふる町

劇団星のふる町は、星座のように舞台を通して、みんなてつながり、一つ一つの星たちのように、一人一人の個性がより輝くことを目指して、鳥取県中部地区を中心に活動されています。「あらしのよるに」は、真っ暗な小屋の中で出会ったオオカミとヤギがお互いの正体を知らず友達になり、「食うもの」「食われるもの」という関係に悩みながら友情を深めていく、友情と命の尊さについての内容でした。

世代を超えて楽しめる劇だったので、親子連れが多く、参加者からは、「親子で楽しめた」「人権を身近に感じた」と高い評価をいただきました。

□ 参加者数 205人 アンケート満足度 97.4%



ゆりはま人権セミナー①

演題 「部落問題と私～沢山の出会いと繋がりから学んだこと～」

講師 中口 諒子さん(倉吉市人権文化センター指導員)

小、中、高と人権学習で学んで来られ、また、様々な人との出会いを通して培われた考え方、「差別はないのではなく自分が見ようとはしなかった」「まずは知る事」「行動しないと意識はかわらない」とご自身の思いを話されました。そして「色というものは、お互いに助けあって美しくなるものだよ。人間と同じことだよ。どっちの色を殺しても駄目だよ。どの色もいかさなくては。」と武者小路実篤の言葉でまとめられました。

参加者からは、「若い人が人権問題を話していて刺激を受けた」という感想をいただきました。

□ 参加者数 92人 アンケート満足度 93.2%



ゆりはま人権セミナー②

演題 「インターネットにおける人権侵害

～あなたのプライバシーは守られていますか～」

講師 松田 雅彦さん(笑顔でこたえるパソコン・スマホ教室代表)

インターネット上の誹謗中傷が社会問題となっている今、インターネット上でどんなことが起きているのか、事例をあげて説明されました。そして、誹謗中傷を投稿・拡散しないために、また、自分自身が被害を受けたときどう対処すればよいのか、具体的にお話していただきました。さらに、児童生徒のインターネットにおける被害を防ぐために保護者ができるポイントを示され、最後に今日からできる自分の情報を守る方法もお話していただきました。

□ 参加者数 120人(オンライン参加4人) アンケート満足度 96.9%



ゆりはま人権セミナー③

演題 「発達障がい者の理解と支援～家庭・職場・地域でできること～」

講師 小倉 加恵子さん(倉吉保健所 所長)

発達障がいの方が生きやすくなる「支援」。ちょっと気になる状態の人の「理解」や障がいの特性の「理解」についてわかりやすく話していただきました。そして、山本五十六語録の中から「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば、人は動かじ」を引用され、子どもとの関わり方についてヒントをいただきました。

□ 参加者数 205人(オンライン参加21人) アンケート満足度 95.4%



人権教育地区座談会

テーマ 羽合地区「様々な人権問題について」 実施会場数：17会場(242人)

東郷地区「DVD 日常の人権 II、人権のヒント『思い込み』から『思いやり』へ、ハッピーライフ&ハッピーワーク等を視聴して人権問題を考える」

実施会場数：35会場(384人)

泊地区「様々な人権問題について」 実施会場数：9会場(179人)

令和5年12月31日現在

～羽合地区でのある座談会の様子～

訪問者として4年ぶりに参加しました。DVDを視聴した後、DVDの感想を出し合いました。DVDの内容が様々な人権問題に関する法律や条約についてだったので、身近に感じられなかったという意見がありましたが、その後、地域の中の人権についての話に広がり、家庭の中の男女の役割分担や、地域の中で、障がいのある人、高齢者等の支援の在り方など、身近な問題を話し合いました。地域で人権を語り合うことは、とても大切で、人権教育座談会の必要性を改めて感じさせていただいた会でした。



ユニバーサルスポーツ モルック体験 羽合小学校多目的活動ホールにて

「モルック」は、年齢・性別・経験に関係なくだれでも楽しむことができるスポーツです。今回は、鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア スポーツ指導員 上田 秀美さんに教えていただきながら、子どもから高齢者まで、一緒にゲームを楽しみました。

※役場 生涯学習・人権推進課ではモルックの貸出しをしています。



□ 参加者数 34人 アンケート満足度 100%

〈編集後記〉

今年度も人権問題を知り、考え、学びの多い日々でした。

私事ですが、私は走るのが好きです。ただ、いきなりフルマラソンのような長距離を走れと言われると躊躇してしまいます。まずは、運動する習慣を身につけ、基礎的な体力を培い、走る訓練をし、徐々に長い距離を走れるようになっていくのだと思います。

人権問題も、日頃から人権に関して意識を向け、「どんなことで困っているのか」「どんな配慮ができるのか」を考えておく、その積み重ねによって、いざ自分や家族、周りの人が人権問題に直面したとき、落ち着いた対応をすることができるのではないのでしょうか。

人権について考えることも、走ることも同じように「自分のペース」で出来ることから始めていきたいと思っています。今年度、人権啓発事業にご協力・ご参加いただいた皆様へ心より感謝申し上げます。



発行・編集 湯梨浜町人権教育推進協議会(事務局：湯梨浜町教育委員会 生涯学習・人権推進課内)

TEL 0858-35-5369 FAX 0858-35-5387

電子メール yshogai@yurihama.jp

■湯梨浜町・北栄町・琴浦町連携制作 人権啓発動画『『誰か』のことじゃない』(10分程度)配信

